



NAUTICA

この度は、ノーティカ腕時計をご購入いただきありがとうございます。
ノーティカ腕時計は最新の電子工学技術を利用して開発されているだけでなく、最高品質の部品で製造されたムーブメントを備えており、動力源には寿命の長い電池を使用しています。

	ページ
腕時計の情報とケア	2 - 5
操作の説明	
基本モデル	6 - 7
日付モデル	8 - 9
マルチモデル	10 - 13
インディグロライトモデル	14 - 15
クロノグラフモデル	16 - 52
アナログ/デジタルモデル	53 - 62
デジタルモデル	63 - 66
特別機能モデル	
潮の機能	67 - 69
ワールドタイム	70 - 73
ワールドタイムとアラーム	74 - 80
YACHT RACER	81 - 86
高機能モデル	
潮・温度計・コンパス	87 - 92
ソーラー	93 - 94
水深計	95 - 99

ノーティカ腕時計は、ノーティカの伝統にふさわしく、品質、機能、ディテールに細心の注意を払って開発されています。精巧に作られた腕時計のすべての機能を完全にご理解いただくために、以下の説明書をお読みください。

防水

お買い上げになった腕時計に防水機能がある場合、文字盤または裏蓋に「WATER RESISTANT」と表記されています。

- **50 メートル防水時計**は、クリスタル、リューズ、およびケースが損傷しない限り、86p.s.i.a.（海面下164フィートまたは50メートル）までの水圧およびホコリから保護されています。
- **100 メートル防水時計**は、クリスタル、リューズ、およびケースが損傷しない限り、160p.s.i.a.（海面下8フィートまたは100メートル）までの水圧およびホコリから保護されています。
- **200 メートル防水時計**は、クリスタル、リューズ、およびケースが損傷しない限り、320p.s.i.a.（海面下656フィートまたは200メートル）までの水圧およびホコリから保護されています。

ご注意：確実に防水機能を効かせるには、**リューズを回転させてケースの突起部内に押し込んでおく必要があります。**
この腕時計は、ISO 6425 認定のダイバーウォッチではありません。

インディグロ® ライト

文字盤に「INDIGLO」の表記がある腕時計はインディグロライト対応モデルとなります。時計左側のリューズまたはプッシャーを押すと文字盤全体が照明され、夜間や低照度時でも読み取れるようになります。照明はボタンを押すとすぐに光ります。

インディグロライト機能付きのノーティカ腕時計は特許取得済みの電界発光技術が含まれています(米国特許第4,527,096号・第4,775,964号)。インディグロライトは腕時計の文字盤全体を高輝度均一光源で照明し、夜間や低照度時でも優れた読みやすさを提供する技術です。ライトのボタンを押すだけですぐ光ります。

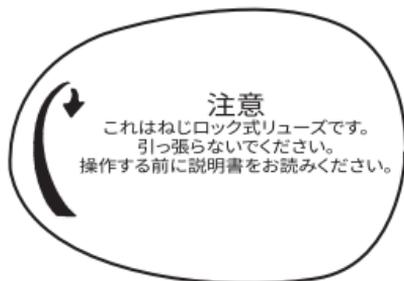
警告:浸水の原因となりますので、水中でボタンを押さないでください。

インディグロ(INDIGLO)はインディグロ・コーポレーションの登録商標です。

電池

使用済み電池はリサイクルしたり、適所に処分してください。電池を焼却しないでください。再充電しないでください。外した電池はお子様の手の届かないところに保管してください。

ねじロック式リューズ



ねじロック式リューズのシール

一部の深水域時計では、防水性を効かせるためにリューズをねじ込んでロックしておくことが必要です。お買い上げになったノーティカ腕時計の裏蓋に上図のような透明のシールが貼られていた場合は、時計を設定する前にリューズを緩め、設定を終えたらリューズをねじ込んでおく必要があります。

ねじ込むときは、ねじ山の突起部にリューズをしっかりと押しつけながら、時計回りにリューズを回します。しっかりと締まるまでリューズをそっと回してください。

経過時間リング

お買い上げの腕時計に数と目盛りの付いた回転式外部ダイヤルが装備されている場合、この経過時間リングを、アクティビティの残り時間または開始時刻を示すために使用できます。

残り時間 - 三角マークがアクティビティの終了時刻を指すように外部リングを合わせます。

開始時間 - アクティビティの開始時刻に三角マークを合わせます。

タキメーター

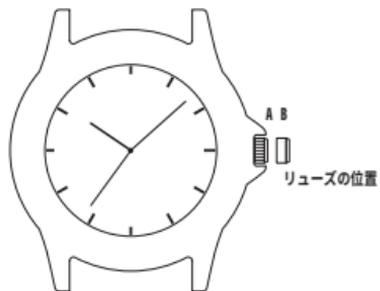
タキメーターは、腕時計を付けた人が一定区間（高速道路での1マイルなど）を移動した速度を測定します。たとえば、開始点を通過した瞬間にクロノグラフをスタートし、終了点を通過したときにストップすると、タキメーターを見ることで、その距離単位での時速がわかります。

バンド調整

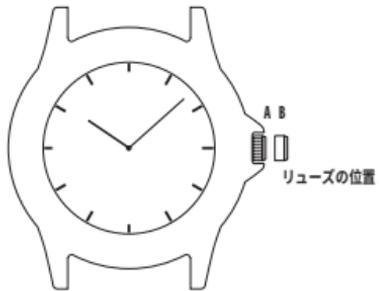


クラスプからバンドを取り外すには、図のようにバネ棒の端を押して（ピンまたは小さなペーパークリップを使用）、リンクバンドをクラスプから外します。バンドをクラスプに戻すには、バネ棒をバンドに通してから、クラスプの穴にバネ棒の端を挿入します。バネ棒の反対側の端を押しながらクラスプに滑り込ませ、所定の穴にパチッと入るように位置を合わせます。

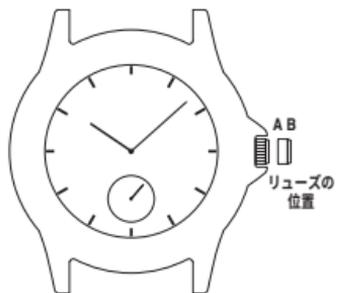
基本モデル



Y121, 2039, 2036, 608/1010



VX10 / VX51 / YL60 / 4S20



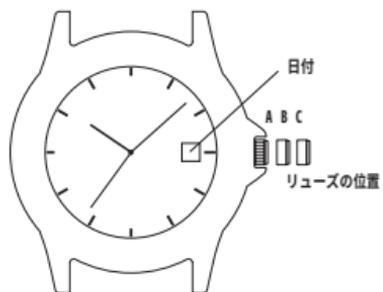
336/168

時刻

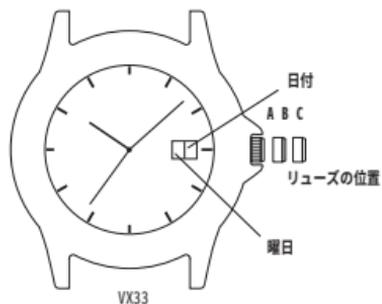
時刻の設定:

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置まで押し込みます。

日付モデル



VX12 / VX42 / VX32 / VX82 / 2315 / 2115 / 2415 / AL32



時刻

時刻の設定:

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置まで押し込みます。

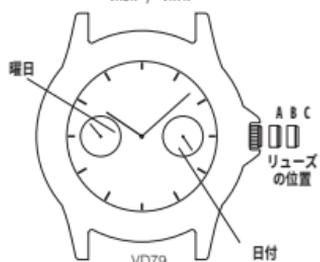
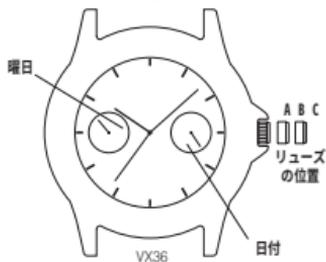
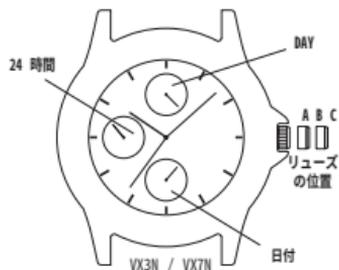
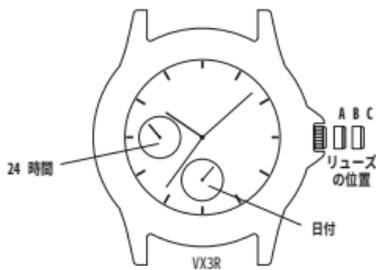
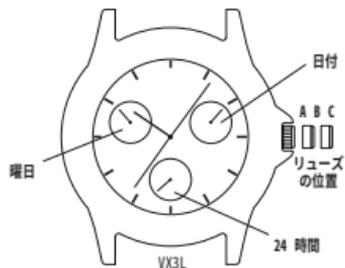
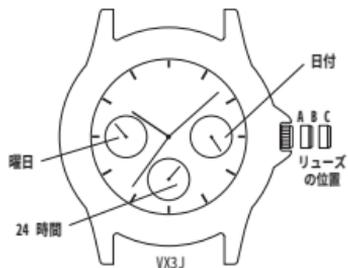
カレンダー

カレンダーと日付の設定:

1. リューズを B の位置まで引き出します。
 - 2A. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、日付を合わせます。
 - 2B. 反時計回りにリューズを回して、日付を合わせます。(VX33の場合)
3. リューズを A の位置まで押し込みます。

注記: 日付は 24 時間ごとに自動的に変わります。

マルチモデル



時刻

時刻の設定:

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. リューズを左右どちらかに回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置まで押し込みます。

日付

日付の設定:

注記: 日付は 24 時間ごとに自動的に変わります。

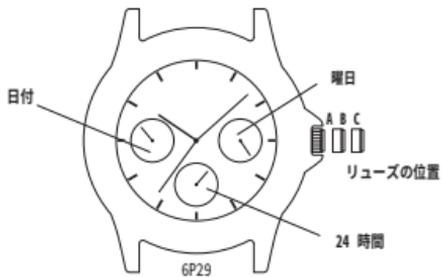
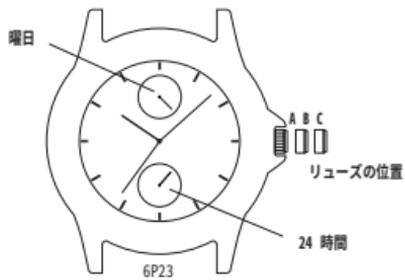
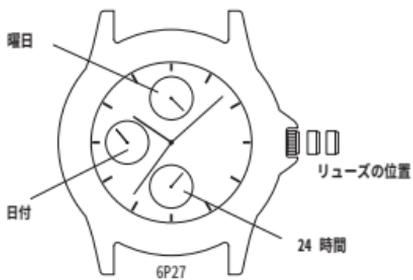
1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. リューズを回して、日付を合わせます。
3. リューズを A の位置まで押し込みます。

曜日の設定 (VX3J / VX3L / VX3N / VX36 / VX7N / VD79の場合)

曜日の設定:

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. リューズを回して (時針を24時間回転)、曜日を合わせます。 .
3. リューズを A の位置まで押し込みます。

注記: 24 時間計は時刻の設定時にのみ変更できます。



時刻

時刻の設定:

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. リューズを左右どちらかに回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置まで押し込みます。

日付

日付の設定:

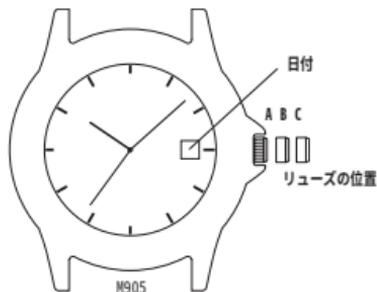
1. リューズを B の位置まで引き出します。
 2. 反時計回りにリューズを回して、日付を合わせます。
 3. リューズを A の位置まで押し込みます。
- 注記: 日付は 24 時間ごとに自動的に変わります。

曜日 (6P27 / 6P29の場合)

曜日の設定:

1. リューズを C の位置まで引き出します。
 2. リューズを(時針が 24 時間分回るように)時計回りに回し、曜日を合わせます。
 3. リューズを A の位置まで押し込みます。
- 注記: 曜日は 24 時間ごとに自動的に変わります。

インディグロライトモデル



インディグロの使い方:

リューズを押し込むとインディグロライトが作動します。

時刻

時刻の設定:

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置まで押し込みます。

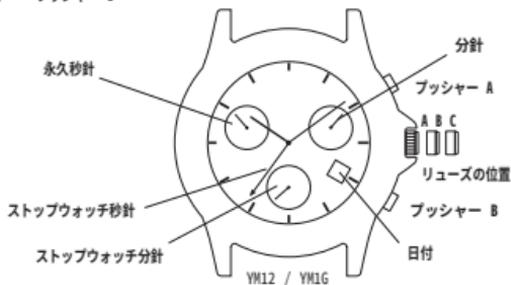
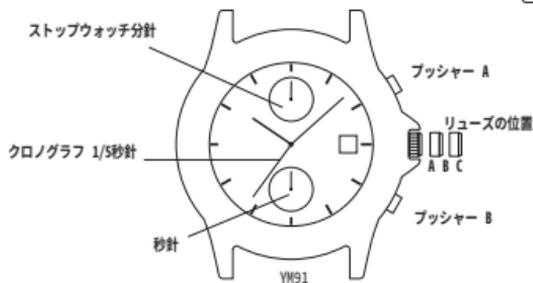
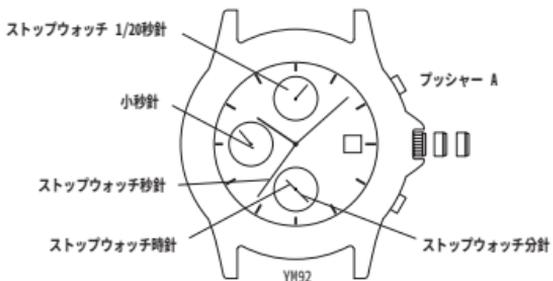
カレンダー

日付の設定:

1. リューズを B の位置まで引き出します
2. リューズを反時計回り(利用者の方向)に回し、日付を合わせます。
3. リューズを A の位置まで押し込みます。

注記: 日付は 24 時間ごとに自動的に変わります。

クロノグラフモデル



このクロノグラフ腕時計は 3 つの機能を備えています：
時刻、カレンダー、ストップウォッチ

時刻

時刻の設定：

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

カレンダー

カレンダーの設定：

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. 時計回りにリューズを回して、カレンダーを合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

ストップウォッチ

本ストップウォッチで計測可能なもの：

- 最高 60 分までの 1/5 秒単位の経過時間
- 60 分経過するとストップウォッチは 0 から再開し、最高 12 時間まで繰り返して計測します。

ストップウォッチを開始する前に、ストップウォッチの針を。
12 および 0 の位置にリセットしてください。

通常のストップウォッチ計測方法:

1. プッシャー A を押して計測をスタートします。
2. プッシャー A を押して計測をストップします。
3. プッシャー B を押してリセットします。

時間計測を積算で行う方法:

1. プッシャー A を押して計測をスタートします。
2. プッシャー A を押して計測をストップします。
3. プッシャー A を押して計時を再スタートします。
4. プッシャー A を押して 2 回目の計時をストップします。
5. プッシャー B を押してリセットします。

ランナーが 2 人いる場合のスプリットタイム計測を行う場合:
2 人のランナーのタイムを同時に計測できます。つまり、1 人目のランナーのタイムを記録した後も、2 人目のランナーがゴールするまでタイムを計測し続けることができます。

スプリットタイム計測:

1. プッシャー A を押して 1 人目のランナーの計時をスタートさせます。
2. プッシャー B を押して 1 人目のランナーのタイムを止め、記録します。(一旦プッシャー B が起動すると、ダイヤル上でストップウォッチ1/20秒針と大きなストップウォッチ秒針の動きは止まりますが、ストップウォッチは内部で計時を続けます。)
3. プッシャー B を押して 2 人目のランナーの計時をスタートさせます。ストップウォッチの秒針が内部で累積された時間まで移動し、2 人目のランナーの計時を続行します。
4. プッシャー A を押して 2 人目のランナーの計時をストップし、タイムを記録します。
5. プッシャー B を押して (これで 3 回目)、リセットします。すると、すべてのストップウォッチ針が12時の位置に戻ります。

ストップウォッチ針の調整(YM12 / YM91 / YM1Gの場合):

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. プッシャー A を 2 秒間押します。ストップウォッチ分針が一周します。
3. プッシャー B を繰り返し押して、ストップウォッチ分針を 0 の位置に合わせます。
4. 再びプッシャー A を 2 秒間押します。ストップウォッチ秒針が一

周します。

5. プッシャー B を繰り返し押して、ストップウォッチ秒針を 0 の位置に合わせます。
6. リューズを A の位置に押し込みます。

備考:

リューズを A の位置に押し戻す前に、時計と分針が正しい位置にあるかチェックすることをお勧めします。

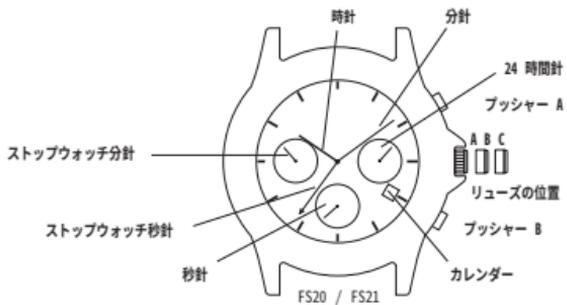
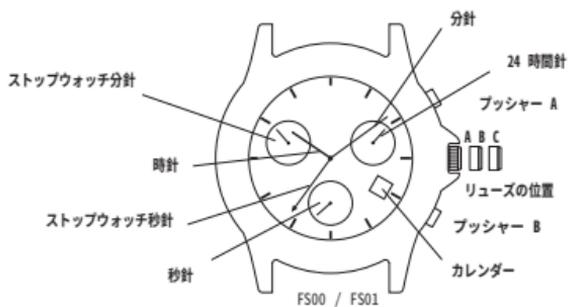
ストップウォッチ針の調整(YM92の場合):

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. プッシャー A を 2 秒間押します。
3. プッシャー B を押して 1/20 秒針の設定を 0 の位置に合わせます。針が 0 または 12 の位置に合ってなければ、プッシャー B を繰り返し押して、針を各単位ずつ動かし 0 または 12 の位置に戻します
4. プッシャー A を 2 秒間押します。
5. プッシャー B を押してストップウォッチ秒針の設定を 0 の位置に合わせます。針が 0 または 12 の位置に合ってなければ、プッシャー B を繰り返し押して、針を各単位ずつ動かし 0 または 12

の位置に戻します。

6. プッシャー A を 2 秒間押します。
7. プッシャー B を押してストップウォッチ分/時針の設定を 0 の位置に合わせます。針が 0 または 12 の位置に合っていなければ、プッシャー B を繰り返し押して、針を各単位ずつ動かして 0 または 12 の位置に戻します。
8. すべてのストップウォッチ針を調整後、リユーズを A の位置に押し込みます。

注記： 設定する前に、ストップウォッチをストップして、リセットされているかどうか確認してください。



このクロノグラフ腕時計は 3 つの機能を備えています：

時刻、カレンダー、ストップウォッチ

時刻

時刻の設定：

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

カレンダー

カレンダーの設定：

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. 時計回りにリューズを回して、カレンダーを合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

ストップウォッチ

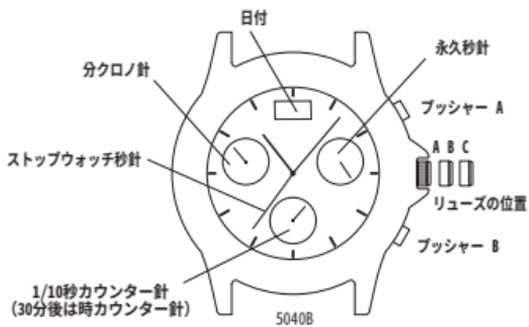
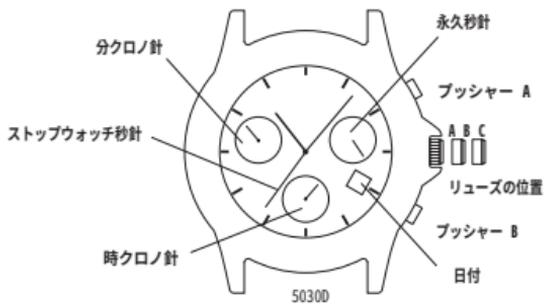
ストップウォッチは最高1時間まで1秒単位で計測および表示できます。ストップウォッチ分針はストップウォッチ秒針と同期しています。

1. プッシャー A を押して計測をスタートします。
2. プッシャー A をもう一度押して計測をストップします。
3. プッシャー B を押してリセットします。

ストップウォッチ針の修正

ストップウォッチ針をリセットしても、針が 12 または 0 の位置に合っていない場合は、次の方法で修正してください:

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. プッシャー A を押し下げます。ストップウォッチ針が素早く動きますので、12 の位置の近くに来たら離します。次に、ストップウォッチ針が 12 の位置に戻るまで、プッシャー A を繰り返し押しします。
3. リューズを A の位置まで押し戻します。
4. プッシャー A を押してストップウォッチ針を起動します。
5. プッシャー B を押して、10時の位置にあるストップウォッチ分針が 0 の位置に戻るまでリセットします。



このクロノグラフ腕時計は 3 つの機能を備えています：
時刻、カレンダー、ストップウォッチ

時刻

時刻の設定：

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置に戻します。

カレンダー

カレンダーの設定：

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. 時計回りにリューズを回して、カレンダーを合わせます。
3. リューズを A の位置に戻します。

ストップウォッチ

本ストップウォッチで計測可能なもの：

最高12時間までのクロノ経過時間(6 時の位置) (5030Dの場合)

最高10時間までのクロノ経過時間(6 時の位置) (5040Bの場合)

最高30分までのクロノ経過分数(9 時の位置)

1 分までのストップウォッチ秒数(大きな秒針)

ストップウォッチを使用する前に、ストップウォッチクロノ針を 12 および 0 の位置にリセットしてください。

通常のスストップウォッチ計測

1. プッシャー A を押して計測をスタートします。
2. プッシャー A をもう一度押して計測をストップします。
3. プッシャー B を押してリセットします。

時間計測を積算で行う方法

1. プッシャー A を押して計測をスタートします。
2. プッシャー A をもう一度押して計測をストップします。
3. プッシャー A を押して計時を再スタートします。
4. プッシャー A をもう一度押して 2 回目の計時をストップします。
5. プッシャー B を押してリセットします。

スプリットタイム計測

ランナーが 2 人いる場合のスプリットタイム計測を行う場合:2 人のランナーのタイムを同時に計測できます。つまり、1 人目のランナーのタイムを記録した後も、2 人目のランナーがゴールするまでタイムを計測し続けることができます。

1. プッシャー A を押して1人目と 2 人目のランナーの計時をスタートさせます。

2. プッシャー B を押して 1 人目のランナーのタイムを止め、記録します。
(一旦プッシャー B が起動すると、ダイヤル上でクロノ分針と大きなストップウォッチ秒針の動きは止まりますが、ストップウォッチは内部で計時を続けます。)
3. プッシャー B をを押すと針が 2 人目のランナーのタイムに追いつきます。ストップウォッチの秒針が内部で累積された時間まで移動し、2 人目のランナーの計時を続行します。
4. プッシャー A を押して 2 人目のランナーの計時をストップし、タイムを記録します。
5. プッシャー B を押して (これで 3 回目)、リセットします。すると、すべてのストップウォッチクロノ針が 12 および 0 の位置に戻ります。

ストップウォッチクロノ針の修正モード

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. プッシャー A と B を同時に2秒間以上押します。
3. 大きなストップウォッチ秒針が 360 度回転すると修正モードが有効になります。

ストップウォッチの大きな秒針の調整

この秒針が 12 または 0 の位置に合っていなければ、プッシャー A を

継続してまたは繰り返し押して、針を各単位ずつ動かし 12 および 0 の位置に戻します。

大きなストップウォッチ秒針の調整を完了したら、リューズを A 位置に押し戻して、調整を終えます。

1/10 秒カウンター針の調整(5040Bの場合)

修正モードを起動した後、1/10 秒カウンター針が 12 または 0 の位置に合っていない場合、プッシャー B を1度押して 1/10 秒カウンター針の修正モードを起動します。針が 12 および 0 の位置に戻るまで、プッシャー A を継続してまたは繰り返し押します。

リューズを A の位置まで押し戻し、調整を終えます。

時クロノ針の調整(5030Dの場合)

修正モードを起動した後、時クロノ針が 12 または 0 の位置に合っていない場合、プッシャー B を1度押して時クロノ針の修正モードを起動します。針が 12 および 0 の位置に戻るまで、プッシャー A を継続してまたは繰り返し押します。

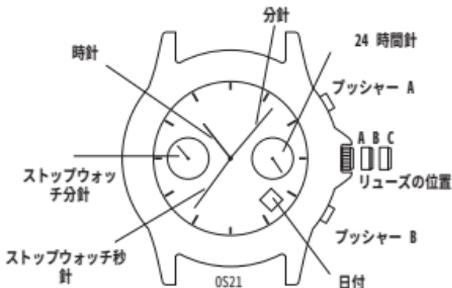
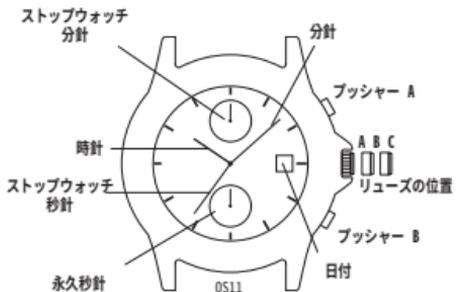
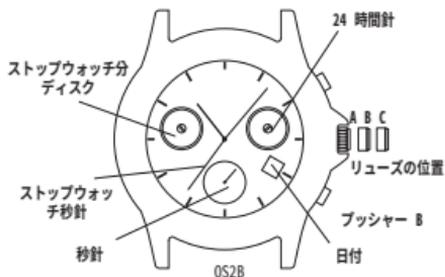
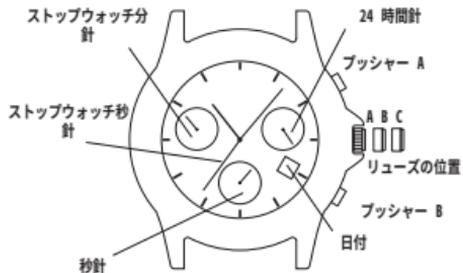
リューズを A の位置まで押し戻し、調整を終えます。

分クロノ針の調整

修正モードを起動した後、分クロノ針が 12 または 0 の位置に合っていない場合、プッシャー B を2度押して分クロノ針の修正モードを起動します。針が 12 および 0 の位置に戻るまで、プッシャー A を継続してまたは繰り返し押します。

リューズを A の位置まで押し戻し、調整を終えます。

すべてのストップウォッチクロノ針の調整を完了したら、リューズを A 位置に押し戻して、調整を終えます。



このクロノグラフ腕時計は 3 つの機能を備えています：

時刻、カレンダー、ストップウォッチ

時刻

時刻の設定：

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

カレンダー

カレンダーの設定：

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. リューズを反時計回りに回し、カレンダーを設定します。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

ストップウォッチ

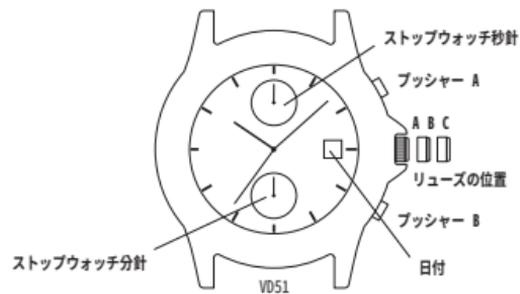
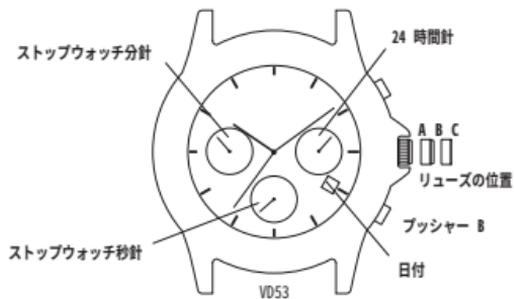
ストップウォッチは最高 59 分 59 秒まで 1 秒単位で計測および表示できます。

1. プッシャー A を押して計測をスタートします。
2. プッシャー A をもう一度押して計測をストップします。
3. プッシャー B を押してリセットします。

ストップウォッチ針の調整

ストップウォッチ秒針をリセットした後も、針が 12 または 0 の位置に合っていない場合は、次の方法で修正してください:

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. プッシャー A を押し下げます。ストップウォッチ秒針が素早く動きますので、12 の位置の近くに来たら離します。次に、ストップウォッチ秒針が 12 の位置に戻るまで、プッシャー A を繰り返し押します。
3. リューズを A の位置に押し込みます。



このクロノグラフ腕時計は 3 つの機能を備えています：
時刻、カレンダー、ストップウォッチ

時刻

時刻の設定：

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

カレンダー

カレンダーの設定：

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. 時計回りにリューズを回して、カレンダーを合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

ストップウォッチ

本ストップウォッチで計測可能な測定値：

最高 60 分までの経過分数

ストップウォッチを使用する前に、ストップウォッチ針を 12 および 0 位置にリセットしてください。

通常のストップウォッチ計測方法:

1. プッシャー A を押して計測をスタートします。
2. プッシャー A を押して計測をストップします。
3. プッシャー B を押してリセットします。

スプリットタイム計測

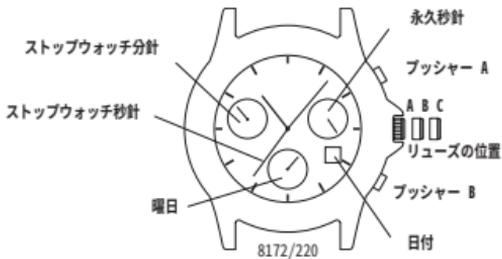
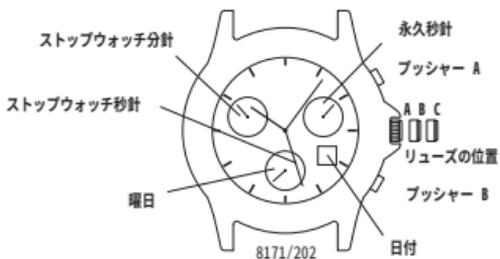
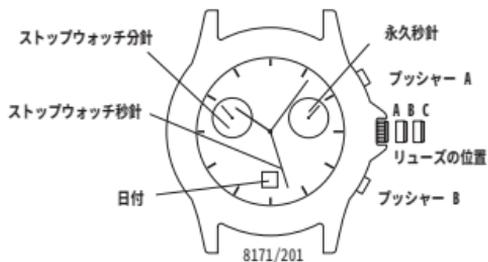
ランナーが 2 人いる場合のスプリットタイム計測を行う場合:2 人のランナーのタイムを同時に計測できます。つまり、 1 人目のランナーのタイムを記録した後も、2 人目のランナーがゴールするまでタイムを計測し続けることができます。

1. プッシャー A を押して1人目と 2 人目のランナーの計時をスタートさせます。
2. プッシャー B を押して 1 人目のランナーのタイムを止め、記録します。
(一旦プッシャーBが起動すると、ダイヤル上でクロノ分針と大きなストップウォッチ秒針の動きは止まりますが、ストップウォッチは内部で計時を続けています。)
3. プッシャー B をを押すと針が 2 人目のランナーのタイムに追いつきます。ストップウォッチの秒針が内部で累積された時間まで移動し、2 人目のランナーの計時を続行します。
4. プッシャー A を押して 2 人目のランナーの計時をストップし、タイムを記録します。
5. プッシャー B を押して (これで 3 回目)、リセットします。する

と、すべてのストップウォッチクロノ針が 12 および 0 の位置に戻ります。

ストップウォッチ針の調整

1. ストップウォッチ針の調整
2. プッシャー A を継続的に、または繰り返し押して、ストップウォッチ秒針を 0 または 12 の位置に合わせます。
3. プッシャー B を継続的に、または繰り返し押して、ストップウォッチ分針を 0 または 12 の位置に合わせます。
4. リューズを A の位置に戻します。



このクロノグラフ腕時計は 3 つの機能を備えています：
時刻、カレンダー、ストップウォッチ

時刻

時刻の設定：

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

カレンダー

カレンダーの設定：

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. 時計回りにリューズを回して、カレンダーを合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

曜日 (8172 / 220の場合)

曜日の設定：

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. リューズを(時計が 24 時間分回るように)時計回りに回し、曜日を合わせます。
3. リューズを A の位置まで押し込みます。

注記：曜日は 24 時間ごとに自動的に変わります。

ストップウォッチ

本ストップウォッチで計測可能な測定値:

1. 最高 30 分までの経過分数
2. クロノグラフ針(1/5 秒単位)

ストップウォッチを使用する前に、ストップウォッチ針を 12 および 0 位置にリセットしてください。

通常のストップウォッチ計測方法:

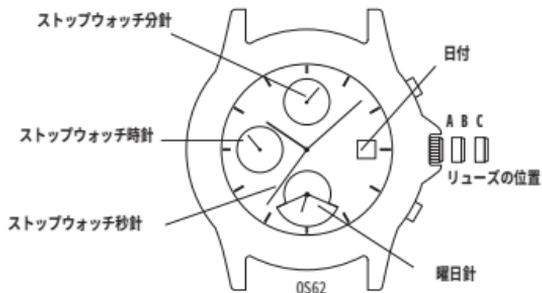
1. プッシャー A を押して計測をスタートします。
2. プッシャー A を押して計測をストップします。
3. プッシャー B を押してリセットします。

スプリットタイム計測:

1. プッシャー A を押して計測をスタートします。
2. プッシャー B を押してスプリットを開始します。
3. プッシャー B を押して再スタートします。
4. プッシャー A を押して計時をストップします。
5. プッシャー B を押してリセットします。

ストップウォッチ針の調整

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. プッシャー A を継続的に、または繰り返し押して、ストップウォッチ秒針を 0 または 12 の位置に合わせます。
3. プッシャー B を継続的に、または繰り返し押して、ストップウォッチ分針を 0 または 12 の位置に合わせます。
4. リューズを A の位置に戻します。



このクロノグラフ腕時計は 3 つの機能を備えています：
時刻、カレンダー、ストップウォッチ

時刻

時刻の設定：

1. C の位置までリューズを引き出すと、6 時の位置にある小針が 60 の位置に戻ります。
2. 時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. A の位置までリューズを押し込むと、6 時の位置にある小針が動き始めます。

カレンダー

日付の設定：

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. 反時計回りにリューズを回して、日付を合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

ストップウォッチ

このストップウォッチは最高 11 時間 59 分 59 秒まで 1/20 (1/1) 秒単位で計測および表示できます。レトログレードストップウォッチ 1/20 (1/1) 秒針はスタート後 60 秒間動き続け、その後 0 の位置で停止します。

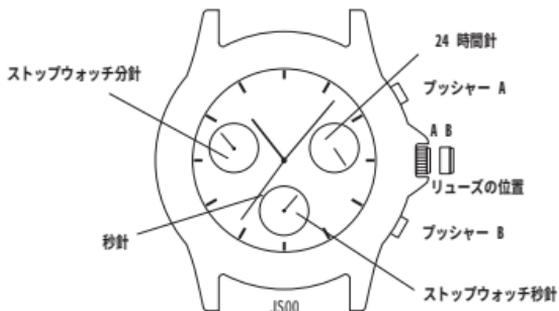
1. プッシャー B を押してクロノモードに切り替えます。
2. プッシャー A を押して計測をスタートします。
3. プッシャー A をもう一度押して計測をストップします。
4. プッシャー B を押してリセットします。

注記: レトログレードストップウォッチの動作は表示用です。実際の測定値は、ストップボタンが押された時に表示されます。

ストップウォッチ針の調整

ストップウォッチの針をリセットした後も、針が 12 または 0 の位置に合っていない場合は、次の方法で修正してください:

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. プッシャー A を押して、ストップウォッチ秒針を 0 の位置に設定します。
3. プッシャー B を押して、ストップウォッチ 1/20 秒針を 0 の位置に設定します。
4. プッシャー A または B を押し続けることで、ストップウォッチ針を素早く進めることができます。
5. 針が 0 の位置に戻ったら、時間をリセットしてリューズを A の位置に押し込みます。crown to position "A".



このクロノグラフ腕時計は 2 つの機能を備えています：
時刻、ストップウォッチ

時刻

時刻の設定：

1. リユーズを B の位置まで引き出します。
2. 時計回りにリユーズを回して、時刻を合わせます。
3. リユーズを A の位置まで押し込むと、秒針が動き始めます。

ストップウォッチ

このストップウォッチは最高 29 分 59 秒まで 1 秒単位で計測および表示できます。

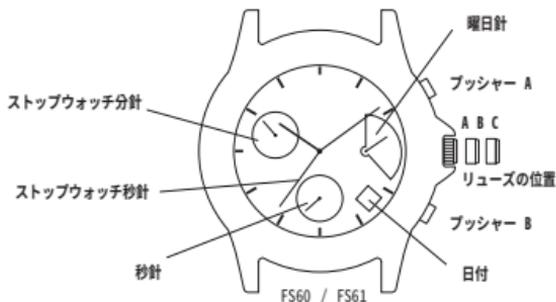
30 分間継続して動作した後、自動的に停止します。

1. プッシャー A を押して計測をスタートします。
2. プッシャー A をもう一度押して計測をストップします。
3. プッシャー B を押してリセットします。

ストップウォッチ針の調整

ストップウォッチの針をリセットした後も、針が 12 または 0 の位置に合っていない場合は、次の方法で修正してください：

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. プッシャー A を押して、ストップウォッチ秒針を 0 の位置に設定します。
3. ストップウォッチ分針はストップウォッチ秒針と同期しています。プッシャー A を継続して押すことで、秒針は素早く進みます。
4. 針が 0 の位置に戻ったら、時間をリセットしてリューズを A の位置に押し込みます。



このクロノグラフ腕時計は 4 つの機能を備えています。

時刻、カレンダー、曜日、ストップウォッチ

時刻

時刻の設定:

1. リユーズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回りにリユーズを回して、時刻を合わせます。
3. リユーズを A の位置に押し込みます。

カレンダー

日付の設定:

1. リユーズを B の位置まで引き出します。
2. 時計回りにリユーズを回して、日付を合わせます。
3. リユーズを A の位置に押し込みます。

曜日

曜日の設定:

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. 反時計回りにリューズを回して、曜日を合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

ストップウォッチ:

このストップウォッチは最高 59 分 59 秒まで 1 秒単位で計測および表示できます。

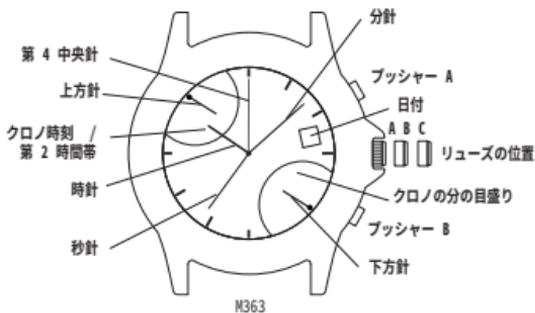
59 分 59 秒が経過した後、ストップウォッチの秒針は 0 秒から計時を再開します。ストップウォッチ分針はプッシャー A が押されるまで計時を続行し、タイムを積算します。

1. プッシャー A を押して計測をスタートします。
2. プッシャー A をもう一度押して計測をストップします。
3. プッシャー B を押してリセットします。

ストップウォッチ針の調整

ストップウォッチ秒針をリセットしても 12 または 0 の位置に合っていない場合は以下の説明に従って調整します:

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. プッシャー A を押し下げます。ストップウォッチ秒針が素早く動きますので、0 の位置の近くに来たら離します。
3. プッシャー B を押して、すべてのストップウォッチ針が 0 の位置にリセットされていることを確認します。



このクロノグラフ腕時計は 3 つの機能を備えています：
時刻、カレンダー、ストップウォッチ

時刻

時刻の設定：

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置に戻します。

カレンダー

カレンダーの設定:

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. リューズを反時計回りに回し、カレンダーを設定します。
3. リューズを A の位置に戻します。

ストップウォッチ

この機能を利用すると 1/5 秒から最大 4 時間まで計測、表示できます。

1. プッシャー A を押して計測をスタートします。
2. もう一度プッシャー A を押して、計測をストップします。
3. プッシャー B を押してリセットします。

注記

- 計測停止後、計測を再スタートするにはプッシャー B を長押しします。プッシャー B を放すと、針が再び動き出します。
- 計測をリセットすると、上方針は 0 の位置に戻ります。8 秒後、第 2 時間帯の表示に戻ります。

第 2 時間帯

上方針が第 2 時間帯の時刻を示します。目盛りは 24 時間です。

第 2 時間帯の設定:

1. リューズを B の位置まで引き出します。第 4 中央針が第 2 時間帯の分を示します。
2. プッシャー A を押して、第 2 時間帯の時間を設定します。
3. プッシャー B を押して、分を設定します。
4. リューズを A の位置に押し戻します。

第 4 中央針の調整

1. リューズを C の位置まで引き出します。上方針と下方針が自動的にゼロの位置にリセットされます。
2. プッシャー A または B を押して、第 4 中央針を 12 の位置に調整します。
3. リューズを A の位置に押し戻します。

アナログ/デジタルモデル



このアナログ/デジタル腕時計は 6 つの機能を備えています:

アナログ・デジタル時刻表示 / 2000 年 ~ 2099 年用自動カレンダー / 2 つの時間帯 / 時間帯に合わせた 2 つのアラーム / 3 つのカウントダウンタイマー / 42 ラップ保存付きクロノグラフ / インディグロライト

基本操作

1. TIMEモードでSTART/STOPボタンを押し続けるとデジタル表示が停止します。もう一度押すとオンになります。

2. SET/INDIGLOボタンを押すと時計の文字盤が 明るくなります。
3. MODEボタンを押すと CHRONO (クロノ)、RECALL (リコーロ)、TIMER (タイマー)、ALARM (アラーム)、TIME (時刻)モードの順に繰り返し表示されます。どのモードでもいいのでMODEボタンを押し続けると 時刻表示に戻ります。
4. 桁数を設定するときは、START/STOPボタンを押すと前に、LAP/RESETボタンを押すと後ろに進み、押し続けると表示速度が早くなります。

アナログ時刻

時刻の設定:

1. リューズを引き出し、時計回り、または反時計回りに回し、正しい時刻を設定します。
2. 設定終了後、リューズを押し戻します。

デジタル時刻とカレンダー

時刻とカレンダーの設定:

1. 「TIME」が表示されるまでMODEボタンを押します。SET/INDIGLOボタンを押し続けて時刻を設定します。
2. START/STOPボタンまたはLAP/RESETボタンを押して秒を 0 に設定します。
3. MODEボタンを押してHOURS (時間) の桁を選択します。
4. START/STOPボタンまたはLAP/RESETボタンを押して設定します。AMまたはPMを選択するには、時間の桁を 12 時間 (12 時間表示方法) 進めます。
5. MODEボタンを押してMINUTES (分)、YEAR (年)、MONTH (月)、DAY (日付)、

DAY OF WEEK (曜日)、時刻表示方法 (12 時間または 24 時間)、そして日付表示方法 (MONTH-DAY (月～日) またはDAY-MONTH (日～月)) を設定します。START/STOPボタンまたはLAP/RESETボタンを押して選択した項目を設定します。

6. 設定終了後、SET/INDIGLOボタンを押します。
 7. LAP/RESETボタンを押し続けてピープ音が鳴るまで待ち、第 2 のTIME ZONE (時間帯) の表示に変えます。上記の手順を繰り返して時刻を設定します。
- 注記: 日付を設定すると、カレンダーは自動的に動き出します。

クロノグラフ

1. CHRONO (クロノグラフ) が表示されるまでMODEボタンを押します。利用可能な保存スロット (1-42) が手短に表示されます。
2. START/STOPボタンを押すとCHRONOが始まります。
3. LAP/RESETボタンを押してラップ (区間タイム) を計測します。5 秒後に時刻が表示されます。
4. START/STOPボタンを押すと計測がストップします。再度ボタンを押すと再び計測を開始します。
5. CHRONOが停止しているときにMODEボタンを押すとRECALLモードになります。繰り返しSTART/STOPボタンを押すと記憶されたラップ/スプリットタイムが表示されます。
6. LAP/RESETボタンを押し続けると記憶されたタイムが消去され、クロノグラフは自動的に消去されます。そして、
7. RECALLモードでLAP/RESETボタンを押し続けてリセットしても、記憶されたラップ/スプリットタイプが自動的に消去されます。

LAP 1	LAP 2	LAP 3	LAP 4
7:11 分	7:50 分	7:08 分	7:30 分
7:11 分			
スプリット 1	15:01 分		
	スプリット 2	22:09 分	
		スプリット 3	29:39 分
			スプリット 4

カウントダウンタイマー

1. TIMERが表示されるまでMODEボタンを押します。LAP/RESETボタンを押してLOOP 1、2、3から選択します。タイマーは最後に設定されたLOOPがタイマー 3 の場合を除いて、前回設定したLOOPタイマーから上に数えます (LOOP 3の場合は逆に数えます)。
2. SET/INDIGLOボタンを押し続けるとLOOPタイマーが設定できます。START/STOPボタンまたはLAP/RESETボタンを押して秒を設定します。
3. MODEボタンを押してMINUTES (分)を選択し、START/STOPボタンまたはLAP/RESETボタンを押して分を設定します。
4. MODEボタンを押します。次にSTART/STOPボタンまたはLAP/RESETボタンを押し、次のLOOPを選択します。
5. 上記のステップを繰り返してそれぞれのLOOPを設定します。
6. 設定が終了したらSET/INDIGLOボタンを押します。
7. START/STOPボタンを押してLOOP TIMERをスタートまたはストップします。

8. TIMERが停止したら、SET/INDIGLOボタンを押し続けるとすべてのLOOPがゼロに設定されます。

LOOPタイマーが終わると、次のLOOPタイマーが開始します。周期は最高30ループまで続きます。

アラーム

1. ALARMが表示されるまでMODEボタンを押します。
2. LAP/RESETボタンを押してALARM 1 か 2 を選択します。
3. SET/INDIGLOボタンを押し続けて設定します。
4. START/STOPボタンあるいはLAP/RESETボタンを押して時間を設定します。AMまたはPMを選択するには、時間の桁を 12 時間 (12 時間表示方法) 進めます。
5. MODEボタンを押してMINUTES (分)を選択し、START/STOPボタンあるいはLAP/RESETボタンを押して設定します。
6. MODEボタンを押してアラームのTIME ZONE (時間帯)を選択し、START/STOPボタンあるいはLAP/RESETボタンを押して設定します。
7. 上記の手順を繰り返してMONTH (月)とDAY (日)を選択します。空白のままにするとアラームは毎日鳴ります。
8. 設定が終了したらSET/INDIGLOボタンを押します。
9. 第2のALARMは同様の手順で設定します。
10. START/STOPボタンを押してALARMをオンあるいはオフにします。

選択されたTIME ZONEにALARMが設定された場合はTIMEの表示欄にアラームシンボル () が表示されます。ALARM設定時刻になるとピープ音が鳴ります。何かボタンを押すとアラーム音が停止します。

インディグロ® ライト

SET/INDIGLOボタンを押すと時計の文字盤が明るくなります。インディグロ®ライトに使用されている特許取得済みの電界発光技術(米国特許第4,527,096号・第4,775,964号)により、夜間や暗い場所でも時計の文字盤を読み取ることができます。



このデジタル腕時計は 7 つの機能を備えています：

アナログおよびデジタルの時刻表示 / デュアルタイム / カレンダー /
クロノグラフ / タイマー / アラーム / EL バックライト

モードの選択

MODEボタンを押して、TIME（時刻）、ALARM（アラーム）、CHRONOGRAPH（クロノグラフ）、TIMER（タイマー）からモードを選択します。

アナログ時刻

時刻の設定：

1. リューズを引き出し、時計回り、または反時計回りに回し、正しい時刻を設定します。
2. 設定終了後、リューズを押し戻します。

デジタル時刻とカレンダー

時刻とカレンダーの設定:

1. TIMEモードが表示されるまでMODEボタンを押します。
2. SETボタンを長押しして、時刻設定を開始します。
3. MODEボタンを押して、以下の順序で設定項目を選択します。
秒 ⇒ 分 ⇒ 時 ⇒ 時刻表示方法 ⇒ 月 ⇒ 日付 ⇒ 曜日
4. START/STOPボタンを押して、時刻を設定します。
5. START/STOPボタンを長押しすると、より速く時刻を設定できます。
6. SETボタンを押して、時刻設定を終了します。

デュアルタイム

1. START/STOPボタンを押して、TIMEモード内のデュアルタイムを表示します。
2. SETボタンを長押しして、時刻設定を開始します。
3. MODEボタンを押して、設定する時間または分を選びます。
4. START/STOPボタンを押して、時間または分を設定します。
5. SETボタンを押して、時刻設定を終了します。
6. START/STOPボタンを押して、通常の時刻表示に戻ります。

ALARMモード

ALARMモードでSTART/STOPボタンを押して、アラーム () とチャイム () の機能を有効化または無効化します。 .

チャイム機能

チャイム機能を有効化すると、毎正時を知らせる電子音が鳴ります。

アラームの設定:

1. ALARMモードが表示されるまでMODEボタンを押します。
2. SETボタンを長押しして、アラーム設定を開始します。
3. MODEボタンを押して、設定するアラームの時間または分を選びます。
4. START/STOPボタンを押して、アラームの時間または分を設定します。
5. SETボタンを押して、アラーム設定を終了します。

CHRONOGRAPHモード

クロノグラフは 1/100 秒単位で最大 23 時間 59 分 59.99 秒まで計測でき、スプリットタイム機能を備えています。

1. CHRONOGRAPHモードが表示されるまでMODEボタンを押します。
2. START/STOPボタンを押して、クロノグラフをスタートします。
3. START/STOPボタンを押して、クロノグラフをストップします。
4. SETボタンをもう一度押しして、クロノグラフをリセットします。

スプリットタイム計測

ランナーが 2 人いる場合のスプリットタイム計測を行う場合:2 人のランナーのタイムを同時に計測できます。つまり、1 人目のランナーのタイムを記録した後も、2 人目のランナーがゴールするまでタイムを計測し続けることができます。

1. START/STOP ボタンを押して、1 人目 と 2 人目のランナーの計測をスタートします。

2. SETボタンを押して、1 人目のランナーの計測を停止、記録します。
(スプリットタイム機能の作動中、「SPL」の表示が点滅します。ストップウォッチは表示されませんが、内部では計測が続きます。)
3. もう一度SETボタンを押して、2 人目のランナーのタイムを確認します。ストップウォッチが切り替わり、内部の積算タイムが表示され、2 人目の計測が継続されます。
4. START/STOPボタンを押して、2 人目のランナーの計測を停止し、タイムを記録します。
5. SETボタンを押して、計測をリセットします。

タイマー機能

1. START/STOPボタンを押して、タイマーをスタートします。
2. START/STOPボタンを押して、タイマーをストップします。
3. SETボタンを押して、タイマーをリセットします。

タイマーの設定:

1. TIMERモードが表示されるまでMODEボタンを押します。
2. SETボタンを長押しして、時刻設定を開始します。
3. MODEボタンを押して、時間または分を選択します。
4. START/STOPボタンを押して、タイマーの時間または分を設定します。
5. SETボタンを押して、タイマー設定を終了します。

ELバックライト

LIGHTボタンを押すと、どのモードでもライト機能が作動します。

デジタルモデル



このデジタル腕時計は 6 つの機能を備えています：

時刻 / カレンダー / 曜日 / クロノグラフ / アラーム / EL バックライト

モードの選択

MODEボタンを押して、TIME（時刻）、CHRONOGRAPH（クロノグラフ）、ALARM（アラーム）、TIME SET（時刻設定）からモードを選択します。

TIMEモード

TIMEモードでは、時、分、秒、日付、月、曜日という現在の時刻に関する情報が表示されます。アラームまたはチャイムのON/OFF[オン / オフ]状態も表示されます。

CHRONOGRAPHモード

このスポーツウォッチは、1/100 秒単位で最大 19 時間 59 分 59.99 秒まで計測でき、スプリットタイム機能を備えています。

1. CHRONOGRAPHモードが表示されるまでMODEボタンを押します。
2. ADJUSTボタンを押して、クロノグラフをスタートします。
3. ADJUSTボタンを押して、クロノグラフをストップします。
4. SETボタンをもう一度押して、クロノグラフをリセットします。

スプリットタイム計測

ランナーが 2 人いる場合のスプリットタイム計測を行う場合:2 人のランナーのタイムを同時に計測できます。つまり、1 人目のランナーのタイムを記録した後も、2 人目のランナーがゴールするまでタイムを計測し続けることができます。

1. ADJUSTボタンを押して、1 人目 と 2 人目のランナーの計測をスタートします。
2. SETボタンを押して、1 人目のランナーの計測を停止、記録しま

す。

(スプリットタイム機能の作動中、「SPLIT」の表示が点滅します。ストップウォッチは表示されませんが、内部では計測が続きます。)

- もう一度SETボタンを押すと 2 人目のランナーのタイムに追いつきます。ストップウォッチは内部で累積された時間まで移動し、2 人目のランナーの計時を続行します。
- ADJUSTボタンを押して、2 人目のランナーの計測を停止し、タイムを記録します。
- SETボタンを押して、計測をリセットします。

ALARMモード

ALARMモードでADJUSTボタンを押すと、アラームとチャイムの機能を有効化または無効化することができます。

アラーム機能

- ALARMモードが表示されるまでMODEボタンを押します。
- SETボタンを押して、アラームの時の設定を選択します。アラームがON[オン]に設定されます。
- ADJUSTボタンを押して、アラームの時を設定します。
- SETボタンを押して、アラームの分の設定を選択し、ADJUSTボタンを押してアラームの分を設定します。
- もう一度SETボタンを押して、アラーム設定を確定します。

チャイム機能

チャイム機能を有効化すると、毎正時を知らせるビープ音が鳴ります。

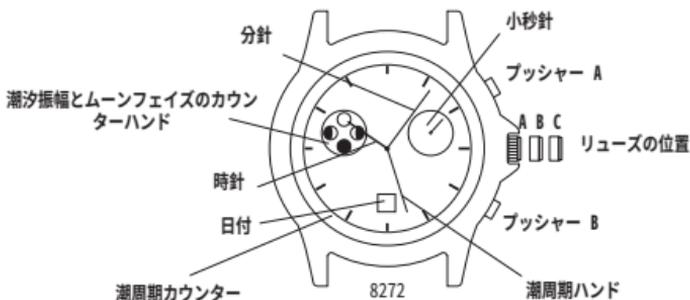
TIME SETモード

1. TIME SETモードが表示されるまでMODEボタンを押します。
2. SETボタンを押して、以下の順序で設定項目を選択します
秒 ⇒ 時 ⇒ 分 ⇒ 月 ⇒ 日付 ⇒ 曜日
3. ADJUSTボタンを押して、時刻を設定します。
4. START/STOPボタンを長押しすると、より速く時刻を設定できます。
5. 時の設定の際、「H」は 24 時間表示を表し、「A」または「P」は 12 時間表示を表します。
6. MODEボタン を押して、TIME SETモードを終了します。

ELバックライト

LIGHT[ライト]ボタンを押すと、どのモード内でもライト機能が作動します。

特別機能モデル



このクロノグラフ腕時計は 3 つの機能を備えています：
時刻、カレンダー、潮

時刻

時刻の設定

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

カレンダー

カレンダーの設定:

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. 時計回りにリューズを回して、カレンダーを合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

潮機能

潮機能 - セントラルハンド

潮機能は 12 時間 25 分 14 秒で 1 周期とみなされます。満潮時は 12 時の位置に対応し、干潮時は反対の位置、つまり 6 時に対応します。

1. ビープ音が鳴って設定モードに入ったら、3 秒以内にプッシャー B を長押しします。
2. プッシャー B を再度押し、地元の潮の状態を設定します。
3. プッシャー B を押し続けると早送りで設定できます。

注記: 3 秒間たってもプッシャー B が押されない場合は、ビープとともに設定モードが終了します。

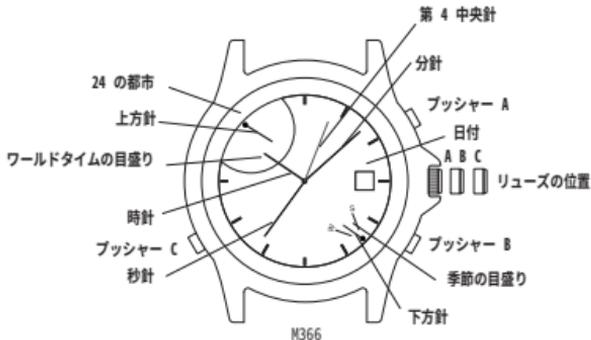
潮汐振幅（ムーンフェーズ）の設定 - 10 時位置のカウンター

潮汐振幅カウンターは 29 日 12 時間 44 分で 1 周期とみなします。

1. ビープ音が鳴って設定モードに入ったら、3 秒以内にプッシャー A を長押しします。
2. プッシャー A を再度押し、月の周期に対応した潮汐振幅を設定します。
3. プッシャー A を押し続けると早送りで設定できます。

注記:

- 3 秒間たってもプッシャー A が押されない場合は、ビープ音とともに設定モードは終了します。
- ムーンフェイズの針が設定時間から動き出し、24時間ごとに前に進みます。



この腕時計は 4 つの機能を備えています：
時刻、カレンダー、ワールドタイム、季節

時刻

時刻の設定：

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置に戻します。

カレンダー

カレンダーの設定：

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. リューズを反時計回りに回し、カレンダーを設定します。
3. リューズを A の位置に戻します。

ワールドタイム

ワールドタイムの設定：

1. リューズを B の位置まで引き出します。第 4 中央針がワールドタイムの時間帯の都市を示し、上方針がワールドタイムを示します。
2. プッシャー A または B を押して、第 4 中央針をホームタイムの時間帯と同じ都市に合わせます。
3. リューズを C の位置まで引き出します。第 4 中央針が 12 時の位置に戻ります。5 秒後、上方針が動き出し、ワールドタイム（前のステップで選んだ都市の時刻）の時間を示し、中央針がワールドタイムの分を示し、下方針が季節を示します。

重要:リューズを C の位置まで引き出した後、全ての針が動きを止めるまでプッシャーを押したり、リューズを回したりしないで下さい。（作動は約 10 秒間かかります。）

4. ワールドタイムとホームタイムを同じ時間帯にしたい場合は、プッシャー A を押して第 4 中央針を後方へ、または B を押して前方へ動かしてワールドタイムを調整します。プッシャーを長押しする

と、早送りで針が進みます。針は一緒に動き、中央針が 1 周し、上方針が 1 時間分動きます。

- 表示された季節がホームタイムの時間帯と合わない場合は プッシャー C を押して変更します。ホームタイムの時間帯がサマータイムを採用している場合、上方針が 1 時間分動きます。
- 設定終了後、リ्यूズを A の位置に押し戻します。

都市時刻の表示選択：

プッシャー A または B を押して第 4 中央針を後方または前方に動かし、都市を選びます。上方針は選んだ都市の時刻を示します。

注記： ワールドタイムの目盛りは 24 時間です。

第 4 中央針の調整

- リ्यूズを C の位置まで引き出します。上方針と下方針が自動的にその端にリセットされます。
- プッシャー A または B を押して、第 4 中央針を 12 時の位置に調整します。
- リ्यूズを A の位置に押し戻します。

注記： 針が止まって 5 秒以内にプッシャーを押さなかった場合、ワールドタイムの設定に移ります（「ワールドタイムの設定」を参照）。

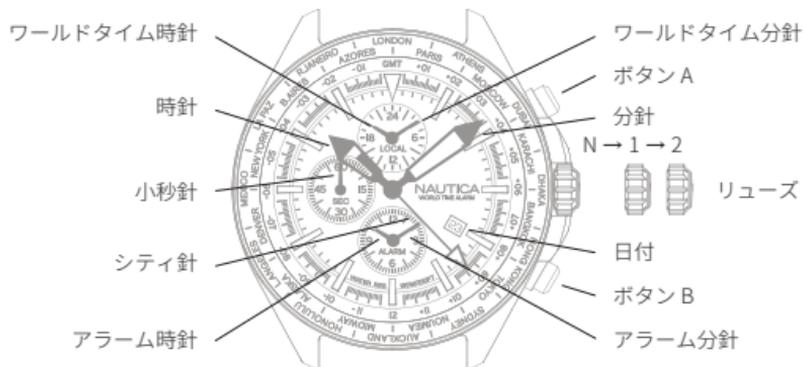
季節の設定

季節を設定すると、デイトライトセービングタイム（別称「サマータイム」）に対応します。

ひとつの設定で、デイトライトセービングタイムとスタンダードタイムを表示します。この腕時計では、デイトライトセービングタイムの期間をSUMMER[夏]、スタンダードタイムの期間をWINTER[冬]とします。ひとつの都市をSUMMERに設定すると、同じ半球にあるすべての都市は自動的にSUMMERと設定され、反対側の半球にあるすべての都市は自動的にWINTERと設定されます。この腕時計はどの都市がどの半球にあるかを認識しています。

プッシャー C を押すと、選んだ都市の季節が変更します。

ワールドタイムとアラーム



リューズとボタン操作

	リューズ位置		
	N: 標準	1: 最初のクリック	2: 2回目のクリック
リューズ	フリー	日付変更のため時計回り方向に回します	時間設定
ボタン A	ワールドタイム シティ設定 (時計回り方向)	サウンドデモ (2秒以上)	[*1]
ボタン B	ワールドタイム シティ設定 (反時計回り方向)	アラーム時間設定 (6時間の小円で)	[*1]

[*1] ワールドタイム針、アラーム針およびシティ針位置調整

ワールドタイム針およびアラーム針が現在時間に調整されていない場合、またはシティ針が「0」位置にない場合は、下の手順に従い設定してください。

(1) リューズを引っ張り出し、2回目のクリック位置に合わせます。

- アラームがセットされ、2回目のクリック位置にリューズが引き出されましたら、ワールドタイム針とアラーム針は、現在時間を示すようになります。

→ (2) アラーム針の設定。

繰り返しボタンBを押して、アラーム針をメイン時間針が示す時間に合わせます。

(3) シティ針の設定。

2秒間ボタンAを押します。

- シティ針が1回転します。

ボタンBを押して、シティ針を希望のシティに設定すると現在時間が分かります。多くの場合、これがあなたの出身地と同じタイムゾーンに属するシティです。

(4) ワールドタイム針の設定。

2秒間ボタンAを押します。

- ワールドタイム針が1回転します。

ボタンBを押して、ワールドタイム針を設定すると、ステップ(3)で選んだシティの時間が示されます。

必要に応じてボタンAを2秒間押すと、矢印が示すとおり再度一連の手順に戻ることができます。

(5) リューズを押し戻して標準位置にします。

ヒント：針を合わせる時、ボタンBを押したままにすると、針は素早く動きます。

時間の設定方法

1. 秒針が12時の位置にあるとき、リューズを引出して2回目のクリック位置に合わせます。
 - アラームがセットされ、リューズが引き出され、2回目のクリック位置になりましたら、ワールドタイム針とアラーム針は、現在時間を示しています。
2. リューズを回して、時針と分針をセットしてください。

時針と分針を希望時間に合わせるとき、午前/午後を考慮に入れてください。

 - 必要に応じて、ワールドタイムやシティ針位置を調節するため、アラーム針を合わせる所要時間を考慮に入れて、現在時間の数分前に時間を針で合わせてください。
 - 分針を合わせる時、希望の時間を4分から5分進めてから正確な時間に分針を戻してください。
3. リューズを押し戻して標準位置にします。

日付の設定方法

1. リューズを引っ張り出し、1回目のクリック位置にします。
2. リューズを回して日付をセットします。
 - 午後9時から午前1時までの間で日付を設定しないでください。
3. リューズを押し戻して標準位置にします。

ヒント：このことは日中の日付変更をする際に、午前/午後を間違っ
て設定したときに起こります。時針を12時間だけ進めてください。

アラーム機能の使用方法

アラームは、12時間以内に指定時間に1回だけ鳴るよう設定することが
できます。アラーム時間は、1分刻みで設定することができます。

アラームの設定方法

アラームをご使用前に、アラーム針が現在時間に調節されているか確認
してください。

- アラーム針が現在時間に調節されていない場合、「ワールドタイム針、アラーム針およびシティ針位置調整」でその手順に従ってください。

1. リューズを引っ張り出し、1回目のクリック位置にします。
2. 繰り返しボタンBを押して、アラーム針を希望アラーム時間へ合わせ
ます。
 - 1回だけのアラームは現在時間の12時間以上あとには一定の時間を設定できませ

ん。ボタンBを押し続けると、素早くアラーム針が進み現在時間を示すと、アラーム針は停止し、アラームは解除されます。その場合、ボタンBを放し、その後、再度ボタンを押してアラーム針を希望時間に合わせます。

3. リューズを押し戻して標準位置にします。
 - アラームは自動的に連動します。

ヒント：リューズが標準位置の間、アラームが解除される時、アラーム針は現在時間を示し、アラームが連動すると指定したアラーム時間を示します。

アラームの停止方法

指定時間に、アラームは20秒間鳴り、停止すると、自動的に解除されます。手で停止するには、ボタンを押します。

ヒント：アラームが鳴っている間、ボタンを押すと、アラームが止まりますが、ワールドタイム操作は行うことができません。

設定したアラーム時間のキャンセル方法

1. リューズを引っ張り出し、1回目のクリック位置にします。
2. アラーム針が止まるまでボタンBを押すと、現在時間が示されます。
 - ボタンBを押したままにすると、アラーム針は素早く動きます。
3. リューズを押し戻して標準位置にします。

サウンドデモのプレビュー方法

1. リューズを引っ張り出し、1回目のクリック位置にします。
2. 2秒以上、ボタンAを長押しします。
- アラーム音がボタンAを長押しすると聞こえます。
3. リューズを押し戻して標準位置にします。

ワールドタイム機能の使用方法

- ウォッチは、世界中で24時間帯の1つで時間を表示できます。
- ワールドタイムのダイヤルは、24時間フォーマットで時間を表示します。
- シティ針がベゼル上で指すシティは、時間を節約する日中に目にしていきますので、1時間の差を補正するために、時計回りですぐ横のシティを選びます。

ワールドタイム機能の使用方法

- シティ時間が知りたい場合、シティ針が指すまでボタンAまたはボタンBを押します。
- ボタンAを押してシティを選びます。(シティ針は時計回りで回ります)
- ボタンBを押してシティを選びます。(シティ針は反時計回りで回ります)

日中節約時間

日中節約時間をベゼル上のシティで使用する場合、矢印はシティマーカ一の右側へプリントされます。



[例]
シカゴの日中節約時間

電力消費警告機能

バッテリー切れに近づくと、短針が通常の1秒間隔の代わりに2秒間隔で動きます。その場合、できるだけ速やかにバッテリーを新しいものと交換してください。

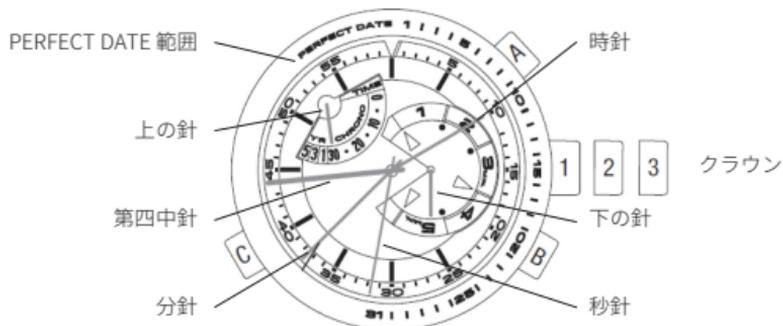
- 小短針が2秒間隔で動いている間は、ウォッチは正確さを維持しています。

システムのリセット

異常表示が現れた場合、組み込まれた集積回路をリセットします。

1. リューズを引っ張り出し、2回目のクリック位置に合わせます。
2. ボタンAおよびボタンBを同時に2秒以上押します。
3. リューズを押し戻して標準位置にします。

YACHT RACER



PERFECT DATE

ウオッチの Perfect Date (パーフェクトデート) 機能により、日付は、2060年まで調節をする必要がありません。ウオッチは、自動的に短月とうるう年を計算に入れ、常に求めれば正しい日付を表示します。日付は、Timexの工場ですり設定されています。時間を調節するだけです。4番目のセンター針により、リューズを押すと日付が表示されます。針はケースのトップリングに示されるとおりに現在日付位置へ移動します。針は、一時停止して、日付を読み取ることができるようになっています。その後、12時の休止位置へ戻ります。Perfect Date 機能は時間

モードでのみ動作することにご留意ください。バッテリーが消耗し、交換する場合、Perfect Date 機能を再校正しなければなりません。バッテリーの交換が必要となった場合、ウォッチは、Timexサービスセンターに送付することを強くお勧めいたします。センターでバッテリーを交換すると、Perfect Date 機能はウォッチが戻される場所の現在日に再校正されます。

4番目のセンター針調節

4番目のセンター針のずれを再調節するためには：

1. 位置3にリュースを引っ張り出します。上針と下針は、針をリセットすると、自動的にスイープが終了します。
2. 10秒以内に位置3へリュースを引張り、4番目のセンター針を12時の方向に向けます。12時の方向に指さなければ、ボタンAまたはボタンBを押して、針を反時計回りまたは時計回りにボタンが12時方向を指すまで動かします。ボタンAまたはボタンBを長押しして、素早く針を動かします。注意：位置3でリュースを用いて動作しなければ、5秒後に、4番目のセンター針が動き、現在日を表示します。
3. 終了すれば、位置1までリュースを押します。

モード選択

ボタンCを押して、希望する機能にするため上針を進めます。

時間：

現在時間のみを表示します（Perfect Date 機能は、時間モードでのみ動作します）。

ヨットレースタイマー5:

カウントダウンタイマーは、5分で起動し、タイマーがゼロに到達すると、クロノグラフが起動します。

ヨットレースタイマー3:

カウントダウンタイマーは、3分で起動し、タイマーがゼロに到達すると、クロノグラフが起動します。

ヨットレースタイマー1:

カウントダウンタイマーは、1分で始動し到達すると、クロノグラフが起動します。

クロノグラフ：

クロノグラフは、カントダウンタイマーなしで動作します。

ヨットレースタイマー動作

ウォッチには、5分、3分、1分のカウントダウンタイマーがあります。カウントダウンタイマーが1時間毎にゼロに達すると、クロノグラフは、自動的に起動します。

1. ボタンCを押して、上針が希望の5分、3分、1分のヨットタイマーモードを表示します。
2. 起動して、ボタンAを押します（スタート/ストップ）。4番目のセンター針は、カウントダウン秒数を表示し、下針は、カウントダウン分数を示します。（注意：ボタンBとCは、カウントダウンタイマーが動作中は、使用できません。）
3. 停止して、ボタンA（スタート/ストップ）を押すと、カウントダウン処理が停止します。（注意：ボタンCは、カウントダウンタイマーをリセットするまで使用できません。）
4. リセットして、3秒間ボタンB（スプリット/リセット）を長押しすると、元々選択されていた5分、3分、1分の時間にカウントダウンタイマーを戻してリセットされます。

ヨットレースタイマーの通常操作では、カウントダウンタイマーがゼロに達すると、クロノグラフが自動的に起動します。カウントダウンタイマーがそれぞれ分マークに達すると、また同時に最終分が最後の5秒に達すると、クロノグラフ機能が起動します。クロノグラフは、1時間の合計最大時間の間、30分連続で2回サイクルします。

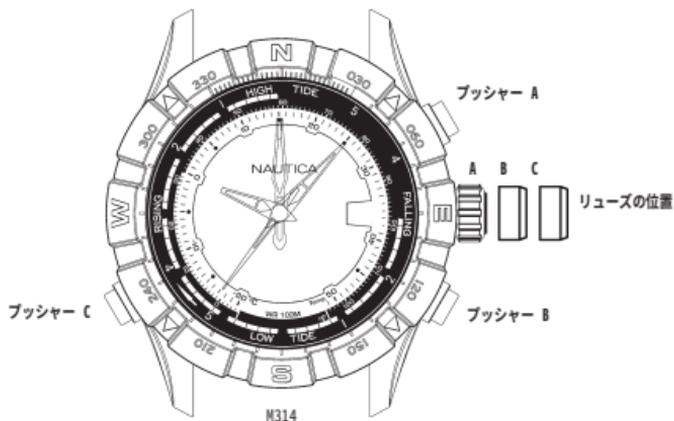
クロノグラフ動作

ウォッチは、ヨットレースタイマーから独立して動作することがあり、1時間クロノグラフを備えています。

1. 上針が30分のクロノグラフスケールの始まりでボタンCを押します。
2. 起動して、ボタンAを押します（スタート/ストップ）。4番目のセンター針は、カウント終了の秒数を表示し、下針は、5分のスケールでカウント終了で分数を表示し、上針は、30分スケールで30分カウント終了を表示します。下針が5分のマークに到達する毎に、上針が30分スケールで進み続けている間、クロノグラフはゼロ位置に戻ります。（注意：ボタンCは、クロノグラフが動作中は使用できません。）
3. 時間を分割して、ボタンB（スプリット/リセット）を押します。上、下、および4番目のセンター針は、その位置をホールドし、分割（経過）時間に注意を促します。クロノグラフは、針が停止している間、タイミングシーケンスをそれでも維持しています。針を放して、ボタンB（スプリット/リセット）を押すと、針は素早く総経過時間を表示するために追いつきます。
4. 停止して、ボタンA（スタート/ストップ）を押すと、クロノグラフが停止します。（注意：ボタンCは、クロノグラフがリセットされるまで、クロノグラフが停止している間、使用できません。）
5. リセットして、3秒間ボタンB（スプリット/リセット）を長押しすると、30分スケールの始めにクロノグラフは戻りリセットされます。

通常操作で、クロノグラフは最大トータルで1時間の間、30分連続で2回サイクルします。この時間が経過すると、上針は、30分のマーカー上に留まり、下針はゼロに戻ります。クロノグラフ機能は、再度クロノグラフ機能を使用する前か、または異なったモードへ変更する前にリセットする必要があります。（注意：ボタンAは、最大1時間が経過すると使用できなく、クロノグラフはボタンBを3秒間長押ししてリセットされるまで機能しません。）

高機能モデル



時刻

時刻の設定:

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

カレンダー

カレンダーの設定:

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、カレンダーを合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

注記: ムーブメントの故障の原因となりますので、午後 10 時～深夜 2 時の間は日付の変更を行わないでください。

インジケーター針の調整

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. TIDEボタンまたはTEMPボタンを押して、対応のインジケーター針が 12 時を指すまで動かします。
3. 設定終了後、リューズを A の位置に押し込みます。

注記: ムーブメントの故障の原因となりますので、午後 10 時～深夜 2 時の間は日付の変更を行わないでください。

潮 / 気温の選択

潮機能:

- B (TIDE)ボタンを押して潮時計を選択します。
(インジケータ針はまず干潮時を指して、それから現在の潮を指します)



気温機能:

- A (TEMP)ボタンを押して温度計を選択します。
(インジケータ針はまず温度計の目盛りの端を指して、それから現在の気温を指します)



注記: インジケータ針はすでに選択された機能を指している場合は、そのまま動きません。

潮時計

インジケータ針は常に時計回りに回りますので、左側を指している間は上げ潮、右側を指している間は下げ潮となります。潮機能は 12 時間 25 分 14 秒で 1 周期とみなされます。満潮時は 12 時の位置に対応し、干潮時は反対の位置、つまり 6 時に対応します。

潮は月や太陽の位置、海岸線の形などによって変わりますので、潮時計は満潮時・干潮時を精密に表すものではありません。周期的な調整が必要になる場合がございますのでご了承ください。

潮機能の設定 - インジケーターストック

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. B (TIDE)ボタンを押して地元の潮の状態を設定します。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

温度計

腕時計をつけている間、温度計の測温機能は利用者の体温に影響を受けます。もっと正確な測定値を得るためには時計を外して、数分間以上日陰に置いてください。水中の時は水温を測定することも可能です。水中のボタン操作は浸水の原因となりますので、水に浸す前に温度計モードに切り替えてください。温度計の測定は1分ごとに行われていますが、温度が変化している時は測定の頻度が上がります。

コンパスの較正

コンパスを使用する前に較正する必要があります。コンパスは地球磁場を利用するため、腕時計周辺の磁場に影響を与える自動車や橋などの大型金属物、そしてテレビ・コンピュータなど、電磁放射線を放出するものに注意してください。腕時計をコンピュータ・電化製品・テレビな

ど、磁気を発生するものの近くに保管すると磁荷を帯びて、コンパスは誤作動するおそれがありますので、近くに保管しないでください。腕につける計器の一般的な正確さは ± 10 度以内です。

コンパスの較正:

1. リューズを B の位置まで引き出して、インジケータ針が停止するまで待ちます。
2. 腕時計を水平位に、文字盤が上に向いているよう保持します。
3. C (COMPASS)ボタンを押して較正を開始します。インジケータ針は2周して、腕時計本体の回転を促します。水平位に保ちながら、1周が15秒以上かかるよう、ゆっくりと腕時計本体を2回回します。
4. 回転が終わったら、水平位に保ちながらC (COMPASS)ボタンを押します。インジケータ針は左右に動いて、較正の完了を示してから、現在の磁気偏角設定に移ります。
5. 磁気偏角を設定したくない場合はリューズを押し込みます。磁気偏角を自動的に補償したい場合は、コンパスリングを回転して、北の方向が12時に位置するよう調整します。



6. プッシャー A または B を押してインジケータ針を西(-)や東(+)
へ動かし、偏角の目盛りを使って地元の偏角角度を設定します。ボ
タンの長押しで針が素早く動きます。



磁気偏角を -14° (14%) に設定された場合

7. 設定終了後、リユーズを A の位置に押し戻します。

コンパスの操作

コンパスは普段、作動していません。腕時計を水平位に保ちながら C (COMPASS) ボタンを押すと作動します。インジケータ針は動き出して、北の方向を指します。時計本体を回すと、インジケータ針は北を指すよう動き出します。電池を長持ちさせるため、20 秒が経過するとコンパスは自動的に停止し、インジケータ針は元の位置に戻ります。コンパス表示中に C (COMPASS) を押すとさらに 20 秒間表示されます。

注記: コンパス作動中、秒針は 2 秒単位で進みます。



VS37

この腕時計は 3 つの機能を備えています：

時刻表示、カレンダー、ソーラーパワー

時刻

時刻の設定：

1. リュウズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリュウズを回して、時刻を合わせます。
3. 時計回り / 反時計回りにリュウズを回して、時刻を合わせます。

カレンダー

カレンダーの設定：

1. リュウズを B の位置まで引き出します。
2. 時計回りにリュウズを回して、日付を合わせます。
3. リュウズを A の位置に押し込みます。

注記：日付は 24 時間ごとに自動的に変わります。

ソーラーパワー 充電時間の目安

照度(Lx)	光源	環境	A (推定時間)	B (推定時間)	C (推定時間)
700	蛍光灯	社内	197 時間	37 時間	54 分
3,000		30W 20cm	43 時間	8 時間	12 分
10,000	太陽光	曇り	13 時間	3 時間	4 分
100,000		快晴	6 時間	36 分	1 分

* 参考:30 Wの蛍光灯の 70 cm下の状態を 1,000 Lxとします

条件 A: フル充電に必要な時間

条件 B: 定常運転に必要な時間

条件 C: 1 日分の充電に必要な時間

電池の寿命: 約 6 ヶ月間(フル充電後)

充電時間: 約 6 時間(100 KLxの太陽光の場合)

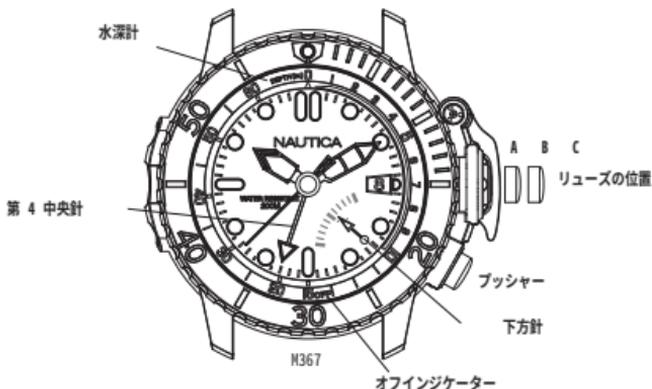
約 43 時間(3,000 Lxの蛍光灯の場合)

クイックスタート機能

腕時計に太陽光や強い人口光(1,000 Lx以上)を当てるとすぐに起動します。この場合は秒針が 2 秒単位で進みます。

バッテリー不足警告

バッテリーが切れかかっている時は目印として秒針が 2 秒単位で進むようになります。2 秒単位の進行が始まると、電池の寿命はあと約 3 日間になります。この現象が始まったら、腕時計を光に当てて、充電してください。



この腕時計は 4 つの機能を備えています：

時刻表示、カレンダー、温度計、水深計

時刻

時刻の設定：

1. リューズを C の位置まで引き出します。
2. 時計回り / 反時計回りにリューズを回して、時刻を合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

カレンダー

カレンダーの設定:

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. 反時計回りにリューズを回して、カレンダーを合わせます。
3. リューズを A の位置に押し込みます。

注記: ムーブメントの故障の原因となりますので、午後 10 時～深夜 2 時の間は日付の変更を行わないでください。

***** リューズを緩めて設定する前にリューズのカバーを引っ張り上げてください *****

温度計

温度センサーは常に作動しており、最低 60 秒ごとに測定を行います。

水深計

センサーをオンにする:

水深計のセンサーは普段、作動していません。

1. プッシャーを押してセンサーをオンにします。
2. 第 4 中央針がOFF(6 時)の位置から 12 時の位置に移動して、最低 5 秒ごとに測定を行います。

注記:測定は 5 分間連続で 0~2 メートル(0~6 フィート)の範囲内
だった場合、センサーが自動的にオフになります。

センサーをオフにする:

センサーをオンにした後、手動でオフにすることができます。

1. プッシャーを 2 秒間押し続けます。
2. 第 4 中央針がOFF(6 時)の位置に戻ります。

最大深度・最低気温の読み込み

1. リューズを B の位置まで引き出します。
2. 中央針と下部の針は動き、これまでに記録した最大深度と最低気温を表します。
3. 腕時計は未使用の場合は中央針と下部の針は 0 メートル/フィートと 0 °C / 32 °Fを表します。
4. 浸水を防ぐため、リューズをしっかり締まるまで回してください。

電池寿命の検出

この腕時計は現在の電池の寿命状態を検出し、それに伴ったビジュアルをユーザーに示します。電池の寿命状態はノーマルレベル・ローレベル・交換レベルと 3 段階に分けられ、それぞれの段階は秒針の動き方にて表示されます。

ノーマルレベルの時は秒針が通常通り、1 秒ごとに 1 単位進みます。

ローレベルの時は秒針が 2 秒ごとにしか進まず、2 単位分を一気に進みます。この状態になったら電池の交換をお勧めします。

交換レベルの時は秒針が 5 秒ごとにしか進まず、5 単位分を一気に進みます。この状態になったらダイバーモードは使用不可能になり、すぐに電池を交換しなければなりません。



水深計

水深計の付いた時計の場合、水に潜ると周りの水圧が上昇し、ガラス下部のトンネルから水が入り、およその深度を内部ベゼルの数字で、メートル単位で表示します。深さはトンネル内に到達した水量により示されます。上方に行くと水圧が減少し、水が徐々にトンネルから出ていきます。この水深計はISO 6425 に準じておりません。